

10/6鳥取県日野町を大地震M7.3が襲う

助け合い、住民と町が一丸となって復興を目指す

平成12年10月6日、午後1時30分ごろに鳥取県西部地域で大地震が発生し、日野町は震度6強（マグニチュード7.3）を記録しました。重軽傷者は17人、家屋の全壊122戸、半壊433戸、一部破損950戸（10月28日現在）をはじめ、公共施設や道路、農林業、商工業、上・下水道施設などに大きな被害が出ました。また、避難者は、ピーク時には10か所、約800人に達しました。町では地震発生後直ちに町災害対策本部を設置。消防団や住民等がいち早い救助、

救援活動を行い、幸いに命をなくされた人は一人もなく、火災もありませんでした。また、自衛隊や県内外から駆けつけた数多くのボランティアの協力により、炊き出しをはじめ、壊れた屋根のブルーシート張り、ガレキの回収、被災者の心のケアなどさまざまな支援が展開され、高齢者の多い町にとって、大きな力となりました。町では公共施設や道路等の修繕、また、住めなくなった家屋等の公費解体や家屋の建築に300万円、補修に150万円のほか、石垣等の補修や井戸の修繕に県の支援を得て補助金を創設。住民と町が一丸となって、一日も早い復興を目指しています。



平成12年10月号 No.561

鳥取県日野町

住民基本台帳平成12年10月6日現在

世帯数 1,575戸
人口 4,622人



避難者はピーク時で10か所、約800人に達した



ボランティアによる炊き出しサービスが被災者に喜ばれた

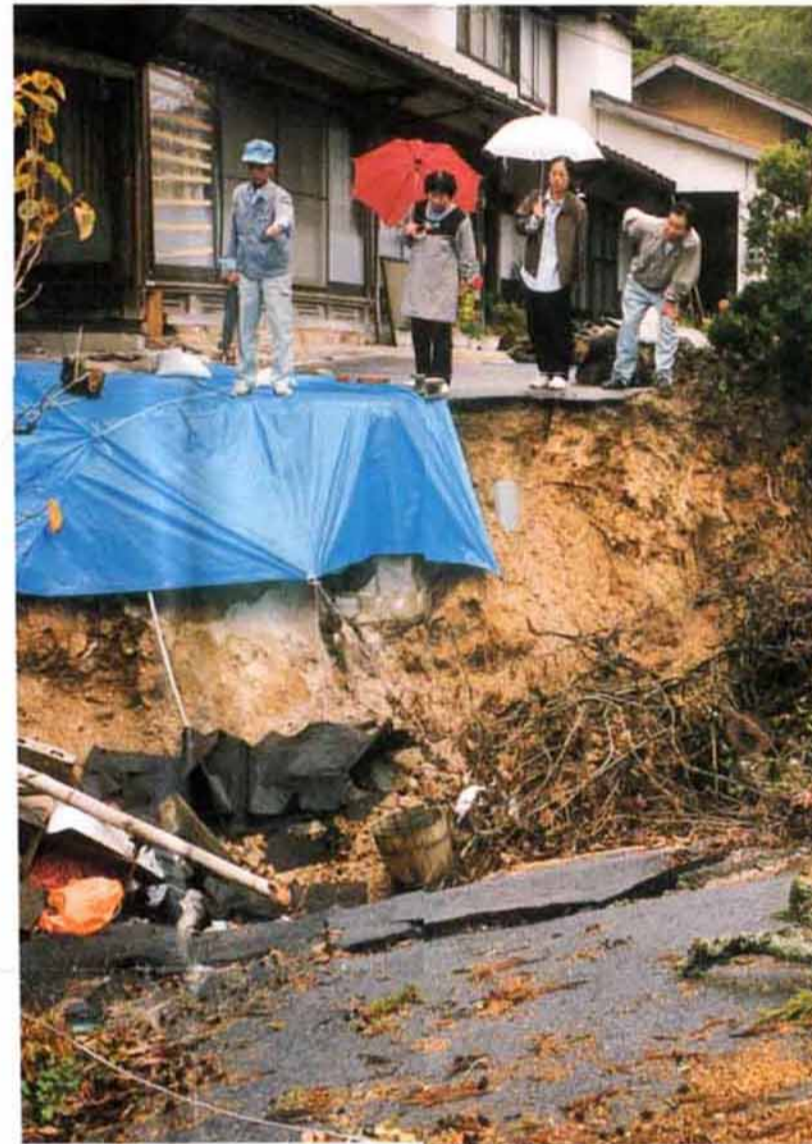
黒坂、下黒坂、下榎地区は特に被害が大きかった



地区コミュニティで対策本部を設け助け合う住民（下榎地区）



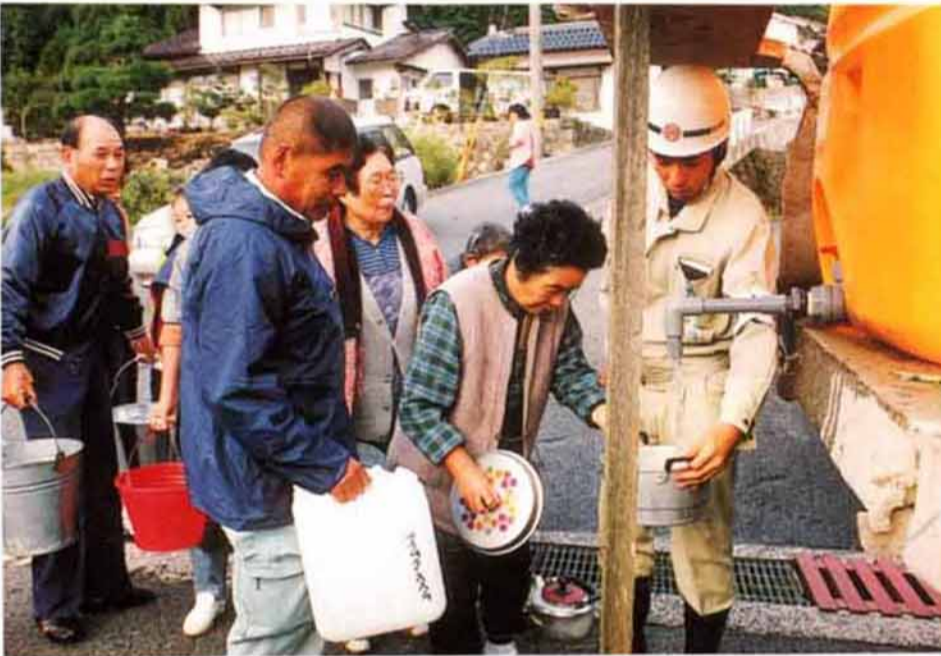
全壊二二戸、半壊四三三戸、一部破損九五〇戸（被害は全世帯に及び、十月二十八日現在）



地震の影響で道路に2m以上の段差ができる（下黒坂地区）



下榎地区では全戸に大被害、ブルーシートの屋根が並ぶ



町内の全水道施設に被害、給水を受ける住民（下榎地区）



JR伯備線は、地震の被害で再三に渡り休止した（日野町下黒坂地区内の復旧現場 十月十九日）



国道の数か所、岩や土砂が流出し、道をふさぎ陸の孤島となった

鳥取県西部地震被害状況

（平成12年10月30日現在）

区分	被害	備考
人的被害	負傷者17人（重傷5人、軽傷12人）	死者なし
住宅被害	全壊122戸 半壊433戸 一部破損950戸 被害家屋1,505戸（公営住宅、官公署住宅等70戸を除く）	10月28日現在 町全世帯に被害
公共施設	41か所 文教施設 5か所（学校、社会教育・体育関係）	千円 105,768千円
道路災害	72か所	634,934千円
橋梁災害	1か所	600千円
河川災害	2か所	6,000千円
農業災害	207か所（農業用施設106か所、農地101か所）	475,687千円
林業災害	87か所（法面前壊21か所、路面クラック他66か所）	159,060千円
商工業被害	100店（売上げ分除外）	471,370千円
上水道被害	簡易水道7か所（1,125戸断水）	14,300千円
下水道被害	公共下水道1施設、農業集落排水2施設	47,000千円
日野病院	1か所 病院全壊、全患者避難	千円
家屋の解体	278件（10/30現在）	千円
処分	仮置き場にガレキ混合物が大量に出る	調査分合計 1,914,719千円
火災	なし	



応急仮設住宅を4か所に24戸を建設（10/30に23戸入居）増設 4戸（黒坂団地に近日中）



全国からボランティアの応援をいただく（ガレキ分別作業）



自衛隊の支援で炊き出し、風呂を震災直後から



片山県知事、生田町長からお見舞や激励を受ける住民